

報 告 書

報告事項	令和7年度第5回会津若松市地域公共交通会議
日 時	令和7年10月30日(木) 10:00~10:30
場 所	生涯学習総合センター(會津稽古堂) 研修室3

以下、報告いたします。

○会長あいさつ

本日の内容は、北会津・新鶴線の減便についての審議となる。忌憚のない意見を賜りたい。

○議事

(1) 議案第5号 北会津・新鶴線の減便について

事務局より、資料にもとづき説明。その後、会津乗合自動車より補足の説明があった。

【質疑応答・意見】

(福島運輸支局)

運転手不足での減便でやむを得ないとのことだが、この件に限らず、減便やルート変更など、道路運送法の手続き後、利用者への周知という流れになると思う。利用者のことも考えながら、余裕をもったスケジュールで、地域の需要も把握しながら交通会議で議論、運送上の手続きの上、利用者への周知の時間も確保してほしい。

(会津若松市区長会)

今回の減便による運転手不足解消への効果はどれほどか。
また、これからも運転手不足は続くと思うが、今後どのように考えていけばいいのか。この先何か考えていることはあるか。

(会津乗合自動車 オブザーバー)

バスの利用者が多い時間帯が通勤通学、通院で朝と夕に集中していて、日中は買い物利用がある。路線のダイヤ、仕業が朝に集中しており、そこに運転手の必要数が集中している。現在の利用状況を見ていくと7時20分北会津支所発と6時30分新鶴温泉発の便があるが、7時20分の便は利用がほとんどないので、朝の仕業を減らすことで、運転手の不足を補っていきたい。日中帯は便数がまばらで調整がつくが、朝の仕業数が多いので、効率化を図っていきたい。

(会津乗合自動車 委員)

補足すると、これまではICカードがなく、利用実態を把握しきれいかなかったため、重なる時間帯で運行していた。ICカードが入って1年程経ち、データを整理していく中で、この時間帯は一緒にしても利用者に影響がないということも分かってきた。今回は1便の話で、2便を1便にということだが、今後を見据えると、データを活用してなるべく利用者には不便とならないように統合化、効率化していくことで路線を維持していきたい。是非ご理解をいただきたい。

(会津若松市区長会)

2便の利用者を1便に移ってもらう方法とのことで、利用者視点の話は分かった。
運転手不足の効果がよくわからなかったので、具体的にこの便がなくなることでどういう効果があるかも教えてほしい。

(会津乗合自動車 オブザーバー)

例えば、運転手60人必要だったところが59人となり、1人浮かせることができる。

(会津若松市区長会)

今後はどのように考えていけばいいか。

(事務局)

交通事業者の運転手不足は、年々深刻な状況になっていると認識している。高齢化も進んでいる。バスを運転するには、二種免許を取得した運転手が必要となり、県でも補助制度があるが、市としても課題として認識しており、二種免許取得支援等の何らかの対応も必要と考えている。

二種免許取得支援と併せて、既存のバス以外の地域でのコミュニティバスや公共ライドシェア等の手法も含めて、交通の維持を図っていきたい。

(福島県バス協会)

4年前から会員の合同就職説明会をしている。次は、会津のワシントンホテルで11月25日(土)12時～会津バス、会津交通はじめ県内6事業者に来ていただいて説明会を実施する。テレビやラジオのメディア関係も活用して広報している。これまでの実績では、多くの参加者は来ないが、参加者から直接会社へ入社する例もあり、協会としても期待している。

⇒ 満場異議なく、原案のとおり承認。

(2) その他

特になし。

○その他

・事務局にて、10月10、11日に会津若松市にて開催された東北運輸局主催のおでかけ交通博について情報共有を行った。

【質疑応答・意見】

(福島運輸支局)

おでかけ交通博について、会津若松市、事業者等、協力いただいた様々な方々に御礼申し上げます。公共交通の取組を発表するトークセッション、ポスターセッション、エクスカージョンと盛り上がり、充実したイベントとなった。おでかけ交通博は毎年各県持ち回りで実施しており、次に福島になるのは何年後かになるが、こういった機会を通して公共交通の充実につながっていくらと思うので、今後ともご協力をお願いしたい。

・今回の議案にも関連する運転手不足等の状況について、各交通事業者より情報共有が行われた。

(会津乗合自動車)

極めて深刻。新しい人が入ってこない及び入っても定着しない状況で、人数の不足を生じている。本来は週休2日制だが、法に触れない範囲で、出勤していただいて路線を維持している。今後、急激に運転手が増えていくことはないことから、今回の議案のようにどのように利用者に迷惑がかからない形で効率的に運行していくかが課題。

(会津交通)

タクシーは、運転手不足から夜より朝昼に重点をおいて稼働している。正社員の採用は難しいので、ダブルワークなど短時間の従事者を増やしていくかが課題。

(福島県バス協会)

会員さんにアンケートをとっているが、運転手が充足している会社は少ない。訪問しても、まず始めに運転手が不足しているとの話が出る。各社とも繁忙期については、仕事に来て車もあるが、運転手がいなくて仕事ができず別の会社に回すこともある。

11月25日に合同就職説明会をするが、広く来ていただくことを期待している。

(会津鉄道)

運転手不足は深刻な課題。鉄道を運転するには免許が必要だが、年に2回しか運転手の試験がなく、ここを逃すと次年度に支障が出る。毎年養成はしているが、それを続けていくことが重要な手段。問題なのは、運転手になった後やめる事例もあること。やめる理由は、個人的な要因も

あるが、今の若手世代は土日休みが欲しいようで、お金の問題ではないとのことだった。
将来的には、運転手数に見合った運行本数に見直していく必要もあると考えている。

【質疑応答・意見】

(会津若松市区長会)

6時台の磐越西線で郡山方面に行こうとした際、タクシーの予約を2日前にしたが、どの会社も7時台から営業とのことだった。自分の場合は自家用車があるが、全体としてそういう状況だと認識した。運営する会社も大変なんだと感じた。公共交通は不便になってきていると感じるので、かかわる方たちは真剣に考えていかなければならないと改めて認識した。

以 上